



電源の供給

Vcc端子には+5 Vを、-Vcc端子には-5 Vを供給する必要があります。この範囲外の電圧を基板に印加しないでください。

セットポイント

セットポイントは、SETPOINTトリマで-2.5 V ~ +2.5 Vの範囲で調整できます。SETPOINT MOD 入力で、セットポイントを変調することができます。変調入力にはDC結合で、ゲインはMOD GAIN ジャンパーによって1 V/V、0.1 V/V または0.01 V/V になります。

フィードバック符号

FAST OUT, SLOW OUT のフィードバックの符号をFAST, SLOW ジャンパーで選択できます(+1, -1)。



積分器イネーブル

INT EN スイッチを ON にすると、FAST および SLOW インテグレータが有効になります。スイッチがオフの場合でも、FAST INT EN / SLOW INT EN ピンにロジックハイ信号を印加することで、インテグレータをイネーブルにすることができます。

ランプイン

スローインテグレータ SLOW OUT の出力に、RAMP IN ピンを介して、変調を加えることができます。

入力／出力範囲

入力範囲は、IN および SETPOINT MOD 入力で ± 2 V です (入力インピーダンスは 50Ω)。出力範囲は、ERROR、FAST_OUT、および SLOW_OUT 出力で ± 2 V です。ERROR と FAST_OUT の出力インピーダンスは 50Ω です。SLOW_OUT の出力インピーダンスは $1 \text{ k}\Omega$ です。

周波数特性の調整

ループフィルタの周波数特性は、3つの青色ロータリースイッチで時計回りに調整することができます。

PROP: $-13.3 \text{ dB} / -6.6 \text{ dB} / 0 \text{ dB} / 6.6 \text{ dB} / 13.3 \text{ dB} / 20 \text{ dB} / 26.6 \text{ dB}$.

FAST INT: $47 \text{ kHz} / 100 \text{ kHz} / 220 \text{ kHz} / 470 \text{ kHz} / 1 \text{ MHz} / 2.2 \text{ MHz} / 4.7 \text{ MHz}$.

SLOW INT (PI200 version): $800 \text{ mHz} / 2.4 \text{ Hz} / 8 \text{ Hz} / 24 \text{ Hz} / 80 \text{ Hz} / 240 \text{ Hz} / 800 \text{ Hz}$.

SLOW INT (PI200-T version): $8 \text{ mHz} / 24 \text{ mHz} / 80 \text{ mHz} / 240 \text{ mHz} / 800 \text{ mHz} / 2.40 \text{ Hz} / 8 \text{ Hz}$.

